

**山陽オイル、内航船にバイオ燃料供給。低炭素化で協業**

バイオ混合燃料の給油準備を進める山陽オイルのバンカリング船

船用燃料供給を手掛ける**山陽オイル**(本社・広島市)はこのほど、広島湾でバイオ燃料混合の船用適合油を同社バンカリング(燃料供給)船から内航船「海門丸」(アジアパシフィックマリン運航)に船舶間供給(シップ・ツー・シップ)した。CO<sub>2</sub>(二酸化炭素)削減に取り組む太平洋マテリアル(本社・東京都)との協業により、低炭素燃料の供給を実現した。

**山陽オイル**は今回、太平洋マテリアルの要望に応じて、廃食油由来のバイオ燃料の試験運航に協力。第1回の燃料供給は6月27日に実施し、7月以降も継続してバイオ燃料を補油している。

使用燃料はバイオ燃料開発・販売企業レボインターナショナル(京都市)が使用済み食用油のリサイクルにより製造した「C-FUEL」。

**山陽オイル**は昨年から自社バンカー船でバイオ燃料30%混合のA重油の1年間のトライアルを実施。エンジン開放検査により、バイオ燃料使用による異常が発生しなかったことを確認している。

**山陽オイル**関係者は、「これまで当社の自社船のみでバイオ燃料を使用していたが、お客さまの船舶へ供給することによって、より広くCO<sub>2</sub>削減の取り組みを進めることができる。今後もお客さまと協力しながら取り組んでいく」と語る。